

# ばれっと

2010  
11月  
No.135

P2~3 **すぽっとらいと**

『ACT53 仙台』

**知恵とアイデアでエコを推進!**



ACT53 仙台が、不用品の再利用を促そうと始めた「もったいない市」。会場には、まだまだ使える衣類や靴などが並びます。

## <目次>

- 
- P4... **サポちゃんで行く骨工口施設見学! 中央市民センターの巻**  
... **サポ本を読もう! 『お父さん!これが定年後の落とし穴』**
  - P5... **事業紹介『市民活動カラフルフェスタ』**      **お知らせ**
  - P6... **サポセンカレンダー**

# すぽっとらいと

◆仙台市内で活動している団体にスポットをあて、その活動の様子や運営のノウハウをご紹介します。

## 知恵とアイデアでエコを推進！ ACT53仙台

「100人のうち、半分以上の“53”人の人が変われば世の中が変わる」との願いをこめて、ごみについて知恵・アイデアを出し合い20年に渡り活動しているACT53仙台。「ACT」は積極的な「行動」を、「53」は「ごみ」と上記の「53人」をかけて表しています。今回は代表の矢吹真理子さんにお話を伺いました。



▲代表の矢吹真理子さん

### ●身近な生活の見直しから生まれたもの

団体を立ち上げた矢吹さんは、元々は環境に関する初心者でした。

1992年、子育てがひと段落着いた矢吹さんは、リオデジャネイロの地球環境サミットを知り、そこで取り上げられていた環境問題について非常に強い関心を抱いたそうです。

そして、何かに突き動かされたように環境問題に関する勉強を始めました。まずは身近なところからの見直しが必要であると考えた矢吹さんの目に留まったのが「ごみ」でした。ごみを減らすことが環境問題の解決に繋がると確信した矢吹さんは、その思いを伝えるために市役所へ向かいました。当時の心境を振り返った矢吹さんは「今の私にとっては、その行動力が有り得ない。石橋を叩いても渡らないのに」と照れくさそうにおっしゃっていました。

当時市役所には、専門的に環境を担当する部署がありませんでした。そのため矢吹さんは環境事業局（現在の環境局）へ向かい、家庭ごみの見直しによるごみ削減とその必要性、リサイクルの推進についてを市民の目線から提案しました。するとそのとき対応していた局長から、「市民がそのようなことを考えていたとは知らなかった」という反応が返ってきたそうです。実は矢吹さんのこの提案は、市民から行政への初めてのものだったのです。行政側からの理解を得た矢吹さんは、そのやり取りのなかで環境事業局から担当者を付けてもらうことになりました。

翌日には早速、担当者で打ち合わせをすることとなり、「活動を広げるためにはまず仲間作りを」というアドバイスをいただいたそうです。それを参考に身近な友人へ声掛けをし、さらにはリサイクル関係の活動をしている団体が集まるところへ自ら足を運び、手づくりのチラシを配って回ったそうです。その努力の結果、最初の会議には10人程が集まりました。この会議の中から生まれたのが「ACT53」だったのです。

### ●一人ひとりの力を合わせて作り上げる

活動の柱の一つである「もったいない市」は、その名の通り、家庭の不用品が廃棄されてしまうのがもったいないので、それをフリーマーケットのようにして売る市です。新品が出品されることもあるフリーマーケットではなく、一度使われたものを再利用するためのリユースマーケットであることに開催当初からこだわってきました。

また、何よりのこだわりは、企画や運営をはじめ、もったいない市で立てている旗竿や横断幕、その全てが知恵とアイデアによる手作りであるということです。スタッフ一人ひとりの得意分野を持ち寄って担当を決め、力を合わせて作り上げてきました。年に1～2回、多い時で3回開催した年もあります。9月5日（日）に開催された第39回もったいない市も、勾当台公園の一角を借りて33ブースが出展し、大盛況で終わりました。次回は来年4月を予定しているそうです。



▲第39回もったいない市の様子

### ●グリーンコンシューマー活動

ACT53仙台が取り組んでいる活動の一つに「グリーンコンシューマー活動」というものがあります。グリーンコンシューマーとは、「環境に配慮した製品を購入する消費者」という意味です。環境に配慮する意識をより多くの人に広げ、このような消費者を増やしていくために、出前講座を随時開いています。

そのメニューの中に「省エネゲーム」というものがあります。これはゲームを通じてCO2の削減について考えるものです。例えば、古い家電製品と新しい家電製品が出すCO2の量は違います。どの家電製品から買い換えていくとCO2を

減らした買い物ができるのかを、ゲームを通して考えられるようになってきました。その他にも、輸送距離から考えるCO2削減のための野菜の選び方など、環境に配慮した視点を作るお手伝いをしています。

●形式にとらわれず、  
自分たちらしく活動する

ACT53仙台は法人格をとらずに任意団体として活動しています。その活動資金は会費やもったいない市の出展料から成っています。助成金に頼らずに自力で資金を調達し、それをもとに自由に活動していることが、20年間続いている理由の一つであると矢吹さんはおっしゃいます。

また、人との繋がりが緩やかなことも活動が継続している理由としてあげています。ACT53仙台で活動する人たちは、代表の矢吹さんをはじめ、皆さん仕事を持っているので、限られた時間の中で動ける人が動くというスタンスをとっています。「自分がやれないことは人に要求せず、お互いに補い合いながらフレキシブルな関係を保っています」と矢吹さん。活動の形態と人間関係が自由であり、柔軟性に富んでいることが活動を長く続けられている秘訣のようです。

●なるようになる、背伸びはしない

今後の課題についてお伺いすると、「今は理念に基づいて最大限に活動していこうとしているため課題に感じることは無く、今の状態を保ちながら継続していくことを大切にしています」と矢吹さん。やれる範囲内のことに全力で取り組み、活動しています。また、仲間集めに関しても積極的に募集をかけているわけではないそうです。同じ意識を持つ仲間が自然に集うことを望んでいるとのことでした。

さらに抱負をお伺いすると、「今は活動を無理に広げていく時期ではない。いずれ今持っているノウハウを発揮するときが来るから、そのときが来るのを準備をしながら楽しみに待っています」とおっしゃっていました。

チャンスが巡って来るまで背伸びをせず、しかし常に情報の受発信をしながら活動を継続していこうとする前向きな姿勢が大きな力となり、今後実を結んでいくのでしょう。

★★ 取材を終えて

矢吹さんの地に足の着いた考え方と行動が、多くの人から支持され慕われている理由であるように感じました。今後ますますエコを考えた暮らしは広がっていくでしょう。今回のインタビューは、改めて自分の消費生活を見直す良いきっかけになりました。  
(担当：西川 日和)

<団体情報>

ACT53仙台

「ごみを作らない・出さない・出してしまったごみはどうリサイクルできるのか」を常に問い続けながら活動している環境NPO。環境問題を解決するために身近な暮らしからの見直しを提案し、「無駄の無い、ほっとする、元気のある暮らし」を追求している。

主な活動

1. もったいない市
2. グリーンコンシューマー・ガイドブック発行
3. グリーンコンシューマー育成ワークショップなど

■ 連絡先

〒983-0852  
 仙台市宮城野区榴岡3-11-5  
 コーポラス島田A-105  
 TEL/FAX: 022-295-2910  
 お問い合わせは  
 第1・3・5金曜日、第2・4土曜日  
 10:30~15:00  
 E-mail: act53sendai@deluxe.ocn.ne.jp  
 ホームページ  
<http://www12.ocn.ne.jp/~act53/>

<ミニ情報>

もったいない市

家庭の不用品を楽しく販売できるリユースマーケット。古布の山コーナーでは不用の衣類やシャツ、タオル、ふろしきや毛糸の収集も行っています。

古布の山に持ち込めないもの  
 綿の入ったもの・カーテン・生地・はぎれ・  
 フリース・ビニール・革製品・制服・作業服・  
 洗濯していないもの・汚れのひどいもの

※材料を仕入れての手作り品の販売は不可。  
 お問い合わせは上記連絡先まで。

取材メモ

もったいない市に実際に行ってみましたが、衣料品やバック、雑貨など様々なリユース品が売られており、中には新品同様のものもありました。ものに対する見方を変えるだけで、誰もがエコを推進できることを実感しました。

# サポちゃんで行く

## 『中央市民センター』の巻

### 仙台に情報の背骨を通すプロジェクト（通称：骨プロ）とは？

市民による情報の受発信を支援し、市民活動に関する情報を多くの市民に届けるため、サポセンを含め仙台市内の11の公共施設が協力して行うプロジェクトです。このコーナーでは、各施設で「骨プロ」がどのように活用されているかをご紹介します。

### 仙台市中央市民センター

仙台市宮城野区  
榴岡4丁目1番8号  
Tel:022-295-0403  
Fax:022-295-0810

「中央市民センター」は、仙台駅東口から徒歩5分、宮城野通りに面した「パルシティ仙台」にあります。

アクセスに恵まれ、「榴岡図書館」も併設されており、生涯学習の活動拠点として多くの方々に利用されています。

今回は、その1階にある「生涯学習に関する情報コーナー」（以下情報コーナー）の担当の方々にお話を伺いました。

### ●イベント情報を届ける「骨プロ」

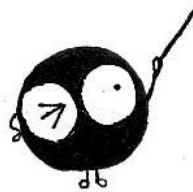
骨プロラックは、情報コーナー入り口の最前列に設置してあります。1階の正面玄関ということもあって、利用者の方が行き来する目にとまりやすいところに配置されています。

生涯学習に関してのチラシやポスターが掲示の中心となっている情報コーナーですが、生涯学習以外の分野も含めて、各種イベント情報の提供については、骨プロが大きな役割を担っているそうです。

### ●2,000件を超える情報の宝庫

情報コーナーに登録されている情報は2,000件を超え、「団体・サークル」、「人材」、「事業」に分類され管理されています。これらの情

報は、館内での閲覧をはじめ、仙台市内の各市民センターやインターネット上でも検索できるシステムになっています。



▲人々が行き交う1階正面玄関に設置された骨プロラック

### ●生涯学習のいろはを完備

生涯学習について、知りたい、参加したいという人たちは言うまでもなく、これから何かを始めたい、会員を募集したいと考えている人たちのためには、窓口相談の態勢も整っています。

まさに「生涯学習のいろは」を完備した施設です。是非、足を運んでみてください。

(担当：平野 昭)

## 今月のサポ本

## 『お父さん！これが定年後の落とし穴』

不満を見つけたら、解決しようとトライするのが人間です。でも、「失敗すればやり直せばよい」と言われても定年退職者には、やり直しの「時間と金」に限りがあります。

さて、どうする・・・。

そんな人達に、行動の前に「落とし穴を確かめておこう」と呼びかけるのがこの本です。

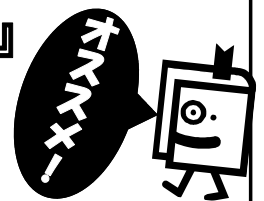
テーマは再就職から定年離婚まで、この世代の関心事を網羅。「幻想（夢）」と「落とし穴（現実）」との対比で、話は進みます。

例えば、南の島の「海に見える高台の家」は、「台風が直撃する危険な家」でもある事を指摘。こんな分り易い事例が続きます。

「で、何が言いたいんだ」と欲求不満になると、最終章で著者の熱い思いに出会います。絶対の成功法則は無いが、失敗要因は共通。だから失敗に学んで恐れずにトライ、トライしなければ何事も始まらないと。

最終章で著者の姿勢を確かめて読むと、更に分り易いお薦め本です。

(担当：橋本 昭正)



著者：大宮 知信  
発行：講談社  
定価：1,470円(税込)

■この本は「D 高齢者・シニア」にあります。

事業紹介

# 市民活動カラフルフェスタ ～発見！体験！街ナカ市民活動～

11月28日(日)10:00～17:30

市民活動サポートセンター全館で開催

「市民活動カラフルフェスタ」は、市民活動サポートセンター（サポセン）で開催される、年に1度のお祭りです。

多様でカラフルな市民活動と街ナカで出会える「市民活動カラフルフェスタ」の詳細をお知らせします。

●ゲストトーク

「そのつぶやきが社会を変えるチカラになる  
国産Tシャツメーカー社長に学ぶ情報発信術」

時間	10:00～12:00
会場	6階セミナーホール
定員	80名（先着順・事前申込必要）
参加費	無料

「CANPANブログ大賞」（注）審査委員長などを歴任する久米信行さんが、「情報発信」をテーマにトークを繰り広げます。

市民活動団体・NPOが情報の受発信を行うメリットや、ネットツール活用により団体の可能性を広げる方法など、具体的事例を紹介いたします。



▲ゲストの久米信行さん

（注）CANPANブログ大賞とは、財団法人日本財団による市民活動のためのブログサービス「CANPANブログ」を利用して、情報発信をしているブログを表彰する制度です。

●NPO体験マーケット&フリマ11:00～15:00  
【5階交流サロン、4階研修室3・5、

3階研修室1・2】

市民活動団体・NPOによる活動紹介とミニ活動体験、そしてフリーマーケットを同時開催します。

●サポセンC A F E 10:00～15:00

【1階情報サロン】

サポセンに、1日限りのカフェがオープンします。市民活動団体・NPOがオススメする一品をお楽しみ下さい。

●パフォーマンス ステージ 11:00～15:00

【地下1階市民活動シアター】

市民活動団体・NPOがシアターを会場に、様々なパフォーマンスを繰り広げます。

●カラフェス交流会 15:30～17:30

【地下1階市民活動シアター】

市民活動団体・NPO、市民、企業が大集合する交流会。いろんな「つながり」が生まれる場所です。（事前申込必要 参加費：500円）

●街ナカ特別企画 一番町四丁目商店街展示  
「発見！街ナカ市民活動」

時間	11:00～15:30
会場	一番町四丁目商店街カワイ楽器前

一番町四丁目商店街にサポセンのブースを出展します。協力：一番町四丁目商店街振興組合

■問い合わせ・お申し込みは、  
仙台市市民活動サポートセンター

TEL 212-3010 FAX 268-4042

（共催：せんだいCARE S2010実行委員会）

## お知らせ ●○○●

### 第1回市民活動アワード 最終選考会

地域や社会を変えた市民活動・企業の社会貢献活動を表彰する市民活動アワード。

10月の市民投票により一次選考を通過した上位8つのエピソードについて、ステージ発表と最終審査が行われます。

各賞が決定する歴史的瞬間にぜひご参加ください。

■日時 11月27日(土)14:00～17:00

■会場 地下1階 市民活動シアター

■入場無料

■内容

- ・一次選考通過8エピソードのステージ発表
- ・来場者と審査員による投票
- ・「オーディエンス賞」など8つの賞の発表

※来場者の皆さんには、市民活動アワードにエントリーされた全18エピソードを収録した「第1回市民活動アワードエピソード集」をお配りします。

■問い合わせ先 仙台市市民活動サポートセンター

TEL 212-3010 FAX 268-4042

日時	イベント内容	会場	料金
11月18日(木) 14:00~17:00	<b>○NPOマネジメント相談</b> 「会員が増えない」「NPOの会計ってどうしたらいいの？」など、市民活動団体・NPOの困りごとに個別対応します。 相談員：特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター 常務理事・事務局長 紅邑 晶子さん	研修室1 (3F)	無料 (事前申込必要)
11月25日(木) 18:30~20:00	<b>○NPOいろは塾</b> NPOの基礎について、90分でわかりやすく学びます。 塾長：仙台市市民活動サポートセンター スタッフ	研修室5 (4F)	500円 (事前申込必要)
11月27日(土) 14:00~17:00	<b>○第1回市民活動アワード最終選考会</b> 地域や社会に変化をもたらした市民活動を紹介・表彰します。	市民活動シアター (B1F)	無料 (事前申込不要)
11月28日(日) 10:00~17:30	<b>○市民活動カラフルフェスタ</b> ゲストトーク、市民活動団体によるミニ活動体験会、カフェ、交流会など、多彩なプログラムを実施します。	全館	※詳しくは5ページの事業紹介をご覧ください。

## 仙台市シニア活動支援センターからのお知らせ

< 申込み・問合せ > TEL 022-217-3983  
仙台市シニア活動支援センター (サポセン3階)

日時	イベント内容	会場	料金
11月13日(土) 10:00~17:00	<b>◆専門相談(先着5名/一組50分程度)</b> ブログ、情報紙で、自分の活動を発信したい方への個別相談。 相談員：おかき+ (ぷらす) 代表 葛西 淳子さん	研修室1 (3F)	無料 (事前申込必要)
11月27日(土) 13:30~15:30	<b>◇セカンドライフセミナー(先着15名)</b> 定年退職後、充実した生活を送るために、経済面の考え方、生きがいづくりなどについて学びます。 講師・相談員：シニア元気笑学校 校長 渡辺 源治さん	研修室5 (4F)	無料 (事前申込必要)

## ■ 仙台市市民活動サポートセンターとは

さまざまな分野の市民活動団体やNPO、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちが、これから活動しようと考えている人たちのための拠点施設です。

## ■ 案内図



○当施設に駐車場・駐輪場はございません。お車や自転車で来館される方は、周辺有料駐車場・駐輪場をご利用ください。

注)路上駐車は周辺の迷惑となりますのでおやめください。

○ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。

[最寄のバス停]電力ビル前、商工会議所前  
[地下鉄]広瀬通駅下車、西5番出口すぐ

## ■ 開館時間

○平日 午前9時~午後10時

○日曜・祝日 午前9時~午後6時

## ■ 休館日のお知らせ(施設点検等のため)

**11/24**

**■ 編集後記** ◆秋のイベントシーズン真っ最中。ここ最近、骨プロラックが満杯です。11月はサポセン自身もイベントがたくさんあるので、ぜひいらしてくださいね。(菅野)

◆11月27日は、市民活動アワード最終選考会です。来場者の投票により、記念すべき「第1回市民活動アワード」の各賞が決まります。皆さんも歴史的瞬間にぜひお立会いください。(太田)

発行：仙台市市民活動サポートセンター

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL:022-212-3010 FAX:022-268-4042

ホームページ <http://www.sapo-sen.jp>

発行日：2010年11月2日

編集：特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター

編集人：菅野祥子 太田貴

仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者として、管理運営を行なっています。[指定管理期間：2010年4月1日~2015年3月31日]